



小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

コロナに負けるな！がんばろう小金井！ どうなる庁舎建設？ 特集号

- 大混乱の基本構想審査特別委員会ドキュメント！事実上、開会できず（11月22日）
- 議員16名「庁舎等建設に係る建築確認申請に関する申し入れ書」提出（11月17日）
- 新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）は12月から順次スタート！
- 一般質問：①農地を守り活かしたまちづくり②高齢者施策の充実（12月2日を予定）

基本構想審査特別委員会(11月22日)審査に至らず！

11月17日 議員多数が市長に庁舎等建設に係る建築確認申請を行わないことを求める申し入れ 7会派16名

小金井市長 西岡真一郎 様

令和3(2021)年11月17日
小金井市議会議員

五十嵐京子／清水がく／遠藤百合子／湯沢綾子／吹春やすたか
森戸よう子／水上洋志／たゆ久貴
宮下誠／渡辺ふき子／小林正樹
白井亨／水谷たかこ
片山かおる
渡辺大三
古畑俊男

庁舎等建設に係る建築確認申請に関する申し入れ書

11月16日に開催された市議会全員協議会に、市長は、小金井市の令和3年度から7年度までの財政見通しを示した「中期財政計画(案)」と「庁舎等複合施設建設事業 財政計画(案)」を提示した。

「中期財政計画(案)」は、令和7年度末の財政調整基金残高がわずか8億3000万円、基金総額も13億1400万円にまで落ち込む内容となっている。その一方、公共施設整備基金は不存在的のまま放置され、現在わずか5100万円しか残高がない教育施設整備基金への積み増しも一切行わないとの内容であった。

「庁舎等複合施設建設事業 財政計画(案)」では、市長自身が84億4000万円としてきた建設工事業費が実に6億3207万円も急増し、90億6424万円となっている。総事業費は約120億円を超えた。全員協議会では、多くの議員から、他事業への影響を指摘する質疑が相次いだ。市長は「影響が出ないようにする」と述べるだけで、具体的方策は何ら示さなかった。

この間、市議会は、新型コロナウイルス感染症の下、コストダウンの方策を検討することを、定例会ごとに決議を可決して求めてきた。

特に10月7日に賛成16反対6の大差で可決した「新型コロナウイルス感染症が社会経済状況や市財政に与える影響に鑑み、新庁舎等建設の見直しを求める決議」は、「基本設計の前提条件の是正も視野に十分検討し、市民生活に影響のない財政見通しを示すか、大幅なコストダウンに向けて具体的に取り組むべきである」と指摘した。しかし、市長の姿勢はこの決議に真っ向から反するものである。

よって、決議に賛成した全議員は、連名で、市長に対し、以下の事項を緊急に申し入れるものである。

市民と議会の理解を得るまでの間、庁舎等建設に係る建築確認申請は行わないこと。

以上

庁舎建設事業に暗雲！委員会を開催できず

11月22日、村山ひできが委員長を務める基本構想審査特別委員会は、開会と同時に議員多数から基本構想審査と一緒に議論される中期財政計画(案)等に対する厳しい意見が続出し空転。調整のための休憩後に市長が「この状況を打開する検討のため第4回定例会の会期中まで時間をいただきたい」と発言し、実質的な審査に至らず閉会となってしまいました。

最初の全員協議会と庁舎建設見直し決議

議会が紛糾する原因の始まりは10月6日、中期財政計画(案)の説明のため開催された全員協議会で議会多数から危機的な財政状況に陥る可能性が厳しく指摘されたことに遡ります。

その後、7会派16名の議員が「新型コロナウイルス感染症が社会経済状況や市財政に与える影響に鑑み、新庁舎等建設の見直しを求める決議」を可決する事態となっていました。

2回目の全員協議会と市長への申し入れ

そして、11月16日に庁舎等建設費約90.7億円を反映させた新たな中期財政計画(案)が示され再び全員協議会で質疑。10月6日の時点よりも更に厳しい財政見通しとなった計画案を不安視する意見が多数となり、翌日7会派16名の議員が左記の申し入れをするに至ったのです。

どうやったら正常な審査に戻れるか？

村山ひできは庁舎建設を遂行するギリギリの財政状況だと捉えてはいますが、議会多数が反対する状況でこのまま進めるには無理があるとも考えます。現実的な判断をするよう市長と協議し議会に打開策を示せるよう動きます。

接種券の発送	接種場所	予約方法
<p>2回目接種から原則8か月経過する方に、順次3回目接種の接種券を発送します。</p> <p>他自治体や国外で接種後に、小金井市に転入した方等は申請が必要です。</p>	<p>接種対象者数に応じて、指定医療機関での個別接種や集団接種会場の設置を予定しています。医療従事者の方は、お勤めの医療機関にご確認ください。</p>	<p>接種には予約が必要です。</p> <p>詳細は、接種券に同封の案内、市ホームページ、市報等でお知らせします。</p>

新型コロナワクチンを2回目接種した場合であっても、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されています。小金井市においても国の方針に基づき、2回目接種を終了した方のうち、原則として接種後8か月以上経過した方を対象に、今年12月から順次、3回目接種を行うことになったと11月9日に開催された全員協議会で報告がありました。

また、未接種や2回目接種をご希望の方には保健センターで集団接種を実施中(開設日:12月4日(土)から1月29日(土)の間の水曜、土曜の一部/受付時間:15:30~15:45)です。ご希望される方は市コールセンター(Tel.042-316-7666)までお問合せください。

11月29日から市議会第4回定例会が開会中!(12月22日まで) 村山ひでき一般質問①農地を守り活かそう②高齢者施策の充実

【2021年度 第4回定例会の日程(予定)】

最大の焦点は本レポート冒頭でお伝えした通り、大紛糾した基本構想特別委員会を再開することができるかどうかです。開催するためには市長が事前に議会に打開策を示さねばならず時間的に間に合うのか…?ご注目ください!

- 11月29日(月) 本会議(議案説明)
- 12月2日(木)~7日(火) 本会議(一般質問)
- 12月8日(水) 議会運営委員会
- 12月9日(木) 厚生文教委員会
- 12月10日(金) 建設環境委員会
- 12月13日(月) 総務企画委員会
- 12月14日(火) 予算特別委員会
- 12月15日(水) 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
- 12月16日(木) 行財政改革推進調査特別委員会
- 12月17日(金) **基本構想審査特別委員会**
- 12月20日(月) 本会議予備日
- 12月22日(水) 本会議(討論・採決)

11月29日から第4回定例会が開会しています。議案数は少ないのですが、庁舎等建設事業をめぐる荒れる市議会になりそうです…。

また、12月2日の13時より村山ひできは一般質問を行う予定です。今回のテーマは2つ。最初に「**農地を守り活かしたまちづくり**」ということで市民農園の増設や都市農地の持つ可能性を探り改正作業中の市農業振興計画に反映させることを求めます。

次に「**高齢者が健康長寿で住み続けたい小金井を**」つくるために、単身高齢者世帯の見守り、ごみ出し支援(ふれあい収集)、補装具費支給制度、スマートフォン等のデジタル対策などの改善を提案する予定です。

質問の様子はYouTubeでご覧いただけますので、是非ご視聴ください。

村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
~衆議院議員(岩國哲人・城島正光) 秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
~(株)ジェコム東京に入社し社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
民進党の解党とともに無所属に
- 2021年 再選し現在4期目

《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井新能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にする会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004
小金井市本町6-13-17
サンライズ武蔵小金井702
TEL 042-386-5543
FAX 042-386-5560
携帯 090-3428-2715

【Eメール】
hideki@murayama.tv
【WEBサイト】
http://www.murayama.tv
【Twitter】
@MurayamaHideki
【Facebook】
https://www.facebook.com/hideki.murayama.52